

宇治市乳幼児期の教育・保育のあり方検討委員会
におけるアンケート調査 まとめ

(宇治市内各幼稚園・保育施設対象)

本アンケートは、令和4年5月20日時点の回答状況から、まとめている
ことから、『5月20日時点暫定版』としている

宇治市乳幼児期の教育・保育のあり方検討委員会事務局
令和4年5月25日

I. アンケート内容

1. 保育内容等について
2. 人材確保等について
3. 保幼小の連携について
4. 配慮を要する乳幼児について
5. 家庭・地域との連携等について
6. 預かり保育事業について（幼稚園のみ）
7. その他

II. アンケート主旨

宇治市乳幼児期の教育・保育のあり方検討委員会において、公立幼稚園・保育所の意義と役割を含む今後のあり方等に関することを検討することから、その議論を進めるために、市内全体の幼稚園・保育施設の取組状況等の把握を行う。

III. アンケート対象

対象施設	施設数（現在）	園児数（R3）	R4.5.20 時点の有効回答数
民間保育所等	19	2,898	17
公立保育所	7	885	7
私立幼稚園	9	1,473	9
公立幼稚園	3	95	3

※民間保育所等に認定こども園を含む

III. アンケート期間

令和4年5月13日（金）～5月19日（木）

IV. 回答内容まとめ

1. 保育内容等について

1-1 保育内容の特色（主な例）

【保育園等（民間・公立）】

- ・一人ひとりを大切にする
- ・いろいろな体験ができる
- ・生き抜く力の基礎を培う
- ・健康な心身の土台作り
- ・子どもの「やってみたい」という気持ちと体験を大切にする
- ・子ども主体の教育・保育
- ・健やかな成長を育む
- ・ゆかいな、なかまと、のびのびあそぼう
- ・どろんこ遊び
- ・子どもが楽しく遊べる環境づくり
- ・健康な子ども、意欲を持って取り組める子ども、思いやりのある子ども
- ・生き生きと遊べる子どもを育てる
- ・思いやりの心を育てる 等

【幼稚園（私立・公立）】

- ・心と体を動かす直接体験重視
- ・「どきどき、わくわく」「のびのび、いきいき」を育てる
- ・笑顔いっぱい、やる気いっぱい、友だちいっぱい、感動いっぱい
- ・みんなが心をつなげて力を合わせたり、助け合ったりする力を育てる
- ・子どもの言葉や行動を大切にする
- ・強い心と体づくり
- ・感性・心豊かな子どもの育ち
- ・知情体
- ・学ぶ楽しさを通じた保育
- ・子どもの主体的な活動を重視
- ・個々を大切に幼児の主体的活動に重きを置く
- ・一人ひとりの特性に応じた指導 等

1-2 教育・保育方針（主な例）

【保育園等（民間・公立）】

- ・能力は生まれつきのものではなく、環境のいかんによって変わるという信念
- ・無限の可能性に響く保育環境の提供
- ・生き抜く力の基礎を培う
- ・豊かな感性を育む、社会性を身に付ける（戸外活動中心）
- ・自分らしく豊かに生き、未来を創り出す力の基礎を培う
- ・心やさしく、たくましく
- ・仲間を大切にしあえる集団づくり
- ・豊かな人間性を持った子どもの育成
- ・愛されることで心も身体も健全に育ち、大切にされることで豊かな人間性を育む
- ・環境を整え、健全な心身の発達を図るとともに、豊かな人間性を育む
- ・素直で明るく、伸び伸びと行動できる子ども・思いやり、優しさのある子ども・意欲を持って行動できる子ども
- ・ゆっくり じっくり こどもの心を育む
- ・子どもたちの主体的、能動的な思いや活動
- ・心やさしく たくましく
- ・あそびの中に「学び」の保育、心身の健康をめざす、生活習慣の確立
- ・心身ともに健やかな育ち
- ・豊かな人間性が身につくよう、ひとり一人を受け止めはぐくむ教育・保育
- ・家庭と連携しながら心身ともに健やかで豊かな子どもを育てる
- ・子ども一人ひとりを大切に、家庭と連携をはかり健やかな子どもを育てる
- ・話を聴く子・仲間を大切に子・豊かに表現する子
- ・保育所生活を楽しく充実させる、保護者と一緒に子育てについて考える
- ・子ども一人一人の基礎となる発達を保障する。 等

【幼稚園（私立・公立）】

- ・自分で 感じ、自分で考え、自分で行動する主体性を育む。・人が生涯にわたって持ち続ける基本的な人間への信頼と愛情を育む
- ・さまざまな体験を通して人間形成の基礎を培う
- ・心豊かな人材の育成
- ・誰でも育つ、育て方一つ
- ・集団生活の中で基本的な生活習慣を身に着け、自主性をはぐくみ、生きる力を身につける

- ・生き生きと自己発揮し、良いところをどんどん伸ばしていけるように
 - ・育つときに、大きく育てる
 - ・幼児期の特性を踏まえ、環境を通し心身ともに健全な幼児を育成する
 - ・幼児の興味関心を大切にしながら、遊びを通して学び、人格形成の基礎を育む
 - ・たくましい体と豊かな心をもった子どもの育成・たくましいこども・思いやりのある子ども・よく考えるこども
- 等

1-3 重点的に取り組んでいる活動（複数回答可）

内容	民間保 育園等	公立 保育所	私立 幼稚園	公立 幼稚園
音楽・ダンス	7	0	7	0
外国語	3	0	3	1
伝統文化	4	0	3	0
絵画	4	1	3	0
園芸・農作物	6	2	4	1
科学教室	0	0	2	0
スポーツ	10	0	8	0
その他	5	1	2	0
計	※17	※7	※9	※3

※は回答数の合計ではなく、回答対象施設数

◆その他の内容等

- ・散歩、どろんこ遊び、身体づくり、自然体験、一輪車、フラフープ、自ら遊ぶ、
戸外活動 等
- ・それぞれ、頻度は、毎日～月数回まで様々

考察

- ・民間保育園、私立幼稚園の取組内容は多岐に渡り、複数の内容に取り組んでいる園が多い

2. 人材確保等について

2-1. 工夫している内容

【保育園等（民間・公立）】

- ・積極的な実習生の受け入れ
- ・就職フェアへの参加
- ・福利厚生（休暇制度等）
- ・働きやすい職場づくり（気持ちよく働けることができる職場）
- ・ハローワークでの求人
- ・園紹介動画
- ・SNS 等を通じた周知
- ・採用後のメンター制度
- ・専用の求人サイト登録 等

【幼稚園（私立・公立）】

- ・高校生体験
- ・教育実習生の受け入れ
- ・自由な風土づくり
- ・働きやすい環境の維持（ワークライフバランス）
- ・HP
- ・ブログ発信
- ・教員が孤立しないように支援 等

2-2. 課題と感ずる内容

【保育園等（民間・公立）】

- ・実習生の減少傾向
- ・定着率の低下
- ・休憩時間の確保
- ・年度途中確保の困難さ
- ・育てる側の育成
- ・高齢化 等

【幼稚園（私立・公立）】

- ・ 処遇改善
- ・ 募集時期に学生確保が難しい状況にある
- ・ 採用行為の時期を早める必要性
- ・ 効果的なアピール 等

考察 

- ・ 担い手不足の状況にあり、特に年度途中採用等に苦慮している。
- ・ 採用後も定着率が高まるよう、働きやすい環境の維持に努めている

3. 保幼小の連携について

3-1. 保幼小連絡会以外での取組内容

【保育園等（民間・公立）】

- ・ 卒園児の習い事を実施
- ・ 卒園児との関わり
- ・ 小学校との密な連携
- ・ 園だより、学校だよりの交流
- ・ 小学校教諭による出前授業
- ・ 小学校への散歩
- ・ 地域世代間交流
- ・ 卒園児、保護者との同窓会 等

【幼稚園（私立・公立）】

- ・ 卒園児の参観（小学校から）
- ・ 体育授業の参観
- ・ 半日授業体験
- ・ 接続カリキュラム作成
- ・ 互いの授業、保育参観 等

3-2. 保幼小連携の課題

【保育園等（民間・公立）】

- ・参観日程が、各校ごとの対応となるため、重なる
- ・学校側の日程決定時期が遅い
- ・交流の調整が困難
- ・小学校側が必要と考えていないように感じる
- ・小学校の管理職により対応が異なる
- ・小学校側からも積極的な取組や関わりが必要
- ・引き継いだ内容の活用状況が分からない
- ・卒園した児童の様子が分からない 等

【幼稚園（私立・公立）】

- ・子どもの参観日程が重なる
- ・小学校の先生に園の様子を見ていただきたい
- ・参観、懇談の機会を増やしたい
- ・小学校ステージへのギャップを感じることなく進めるようにしたい
- ・保幼小の連携も必要 等

考察

- ・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、ここ数年は、以前よりも交流が難しくなっている
- ・保幼小連携についての目的や必要性について、それぞれが理解し、また小学校側も理解した上での取組を考える必要がある

4. 配慮を要する乳幼児について

4-1. 配慮を要する乳幼児の在園児数について (R3)

	民間保 育園等	公立 保育所	私立 幼稚園	公立 幼稚園
0人	0	1	0	0
1~5人	10	2	1	2
6~10人	6	2	3	0
11人以上	1	2	5	1
施設数	17	7	9	3

4-1. 入園に際しての対象について

内容	民間保 育園等	公立 保育所	私立 幼稚園	公立 幼稚園
身体障害（視覚・聴覚・肢体など）	7	7	3	3
発達の遅れ（身辺自立・理解など）	14	7	7	3
発達障害（こだわり、多動など）	15	7	7	3
医療的ケア（喀痰吸引、経管栄養、導尿など）	6	0	0	0
その他	2	0	1	0
計	※17	※7	※9	※3

※は回答数の合計ではなく、回答対象施設数

◆その他の内容:

- ・受入れの対象は年度によって異なる
- ・基準を決めず、入園児に保護者との話し合いで入園を決定している

考察 ☞

- ・どの保育園、幼稚園においても、それぞれの基準や考えを基に、配慮が必要な乳幼児の受け入れを行っている。
- ・民間保育園等では、医療的ケア児の受け入れも行っている。

4-3. 配慮を要する乳幼児に対する職員体制について

【保育園等（民間・公立）】

- ・乳幼児1人に対して1人の職員を配置
- ・乳幼児3人に対して1人の職員を配置
- ・対象児により異なる
- ・医療的介護が必要な場合に配置
- ・概ね乳幼児2~3人に1人の職員を配置
- ・概ね乳幼児2人に対して1人の職員を配置 等

【幼稚園（私立）】

- ・必要な園児に対して、フリー教員や非常勤教員が支援を行う
- ・集団生活を過ごせるように支援
- ・乳幼児1人に対して1人の職員を配置 など

【幼稚園（公立）】

- ・就園支援委員会で決定

考察

- ・幼稚園（私立）については、配慮が必要な乳幼児に対しての支援として、園独自で加配を配置するほか、園体制の中で、必要な支援の手立てが取れるように体制の確保をしている

4-4. 移行支援シートの作成状況について

	民間保 育園等	公立 保育所	私立 幼稚園	公立 幼稚園
している	7	0	1	3
していない	9	7	8	0
その他	1	0	0	0
施設数	17	7	9	3

◆「していない」「その他」の内容

- ・移行支援シート以外の方法で、緊密な連携を図る
- ・指導要録に加え、個別報告
- ・保育要領にて作成
- ・就学前の懇談実施
- ・正式な書式ではないが、配慮事項等は引継ぎしている
- ・保育要録にて記載、年度末に小学校からの訪問
- ・療育機関に通所している場合は、療育機関で作成 など

5. 家庭・地域との連携等について

5-1. 家庭・地域と連携した取組の実施状況

(家庭・地域と連携)

	民間保 育園等	公立 保育所	私立 幼稚園	公立 幼稚園
実施している	16	6	9	3
実施していない	1	1	0	0
施設数	17	7	9	3

◆主な内容など

- ・高齢者施設への訪問、歌の交流
- ・地域行事への参加（祭りなど）
- ・小中学生を招いた発表会
- ・ワークショップ など

考察 ☞

特に高齢者施設との交流が多い

(未就園児向き)

	民間保 育園等	公立 保育所	私立 幼稚園	公立 幼稚園
実施している	17	6	9	3
実施していない	0	1	0	0
施設数	17	7	9	3

◆主な内容など

- ・未就園児一時保育、園開放、プール開放、親子教室
- ・ベビータッチリトミック、遊びの広場、母子分離
- ・親子体操、人形劇鑑賞 など

(子育て相談)

	民間保 育園等	公立 保育所	私立 幼稚園	公立 幼稚園
実施している	17	6	8	3
実施していない	0	1	1	0
施設数	17	7	9	3

◆主な内容など

- ・育児相談、子ども理解に関する相談
- ・電話相談、食育講習、発達相談
- ・家庭相談、個人懇談

◆対象

多くの園で、在園児以外も対象としている

◆体制

保育士・保育教諭・幼稚園教諭が相談者となっていることが多数であるが、「看護師」「ソーシャルワーカー」「臨床心理士」「キンダーカウンセラー」を相談者としている園もある

6. 預かり保育事業について（幼稚園のみ）

※幼稚園は長期休業期間があることから、以下のとおり、預かり保育事業の状況のアンケートを行った

1日あたりの概ねの利用人数（長期休業期間外、通常時）

	私立幼稚園	公立幼稚園
10人未満	2	3
10人～20人	5	0
21人以上	2	0
施設数	9	3

1日あたりの概ねの利用人数（長期休業期間中）

	私立幼稚園	公立幼稚園
10人未満	3	
10人～20人	2	
21人以上	4	
施設数	9	3

※公立幼稚園は長期休業期間中の預かり保育を実施していない

考察

長期休業期間中であっても、預かり保育利用者が大きく減少するのではなく、利用者は増えているケースもある

7. その他（全般に対する意見等）

- ・移行支援シートは園独自で作成しているので、統一シートへの移行はせず意見を聞いてもらいたい
- ・乳幼児期にどのような力をつけることが大切か、正しい乳幼児教育・保育の見解を、保護者だけでなく市民全体に広げる努力が必要
- ・若年世帯に選ばれる市になるため、幼稚園・保育園・認定こども園が一体となり教育・保育に取り組んでいくことが重要
- ・宇治市で子育てをしたいと思ってもらえることに重きを置くべき
- ・支援が必要な子どもは増加傾向
- ・公立幼稚園の意義について、「教育」と「福祉」の観点からの役割を見直してほしい 等